

中部経済新聞

2020年(令和2年)

1月8日
水曜日

発行所
中部経済新聞社
〒450-8561
名古屋市中村区
名駅4-4-10

編集局 052(561)5212
読者関係局 052(561)5216
広告部 052(561)5213
事業部 052(561)5675
総務部 052(561)5215
東京支社 03(3572)3601
©中部経済新聞社2020
販売のお申し込み
052-603-123

SEINO 信頼の総合物流商社
西濃運輸

http://www.seino.co.jp

5面
三河・静岡
西三交通 運転手の労働環境改善加速
岡崎営業所に第3駐車場を新設

7面
三重
人手不足対策へ企業説明会
2020年を拓く＝桑名商工会議所会頭・中澤康哉氏

2面
先端技術都市「建設
米国「CES2020」開幕

3面
「し」市場を創造
企業家同友会会長・加藤明彦氏

きょうの紙面



竹田本社のウェハース
50周年で自社製金メ
ダルが当たるキャンペ
ーン4面

セキソー、西尾に新棟建設

8月稼働 吸音材の原反増産

自動車部品メーカーのセキソー(本社岡崎市日笠北町、林新一社長)は、西尾市志籠谷(しこや)町に完成させた自動車用吸音材生産の西尾工場に新たに二つ目の工場棟を追加整備し、吸音材の原反生産を葵工場(岡崎市岡町)から移管する。整備する第2工場は8月に稼働予定。投資額は約7億円。吸音材は自動車の静粛性の高まりから需要拡大が見込まれており、増産が可能な体制を整える。

西尾工場全体の敷地面積(完成した第1工場は平屋建)は約1万3千平方メートル。先にてで、延べ床面積約3300平方メートル。第2工場を追加整備する西尾工場



重量が高まって
いる高性能吸音
材「SAF」の
原反

第2工場を追加整備
する西尾工場

0平方メートル。ガラス繊維主材の不織布を使った床下吸音材新製品「SAF(セキソー・アコースティック・ポード)」を用い、エンジンアンダーカバーを今夏から生産する。現在は補給品の生産・出荷を行いながら、新製品の本格生産に向けて品質の作り込みを行っている。投資額は土地、建物な

ドを含めて約10億円。新たに整備する第2工場は平屋建てで、延べ床面積約1800平方メートル。現在、葵工場で手掛けている高性能吸音材「SAF(セキソー・アコースティック・ファイバー)」は特殊なポリプロピレン(PP)を主材にした不織布製品で、重量が軽く、空気の流れを滑らかにしたり、高い吸音性能を発揮する。自動車エアクリナーやバッテリー空調用などに使われており、柱

となるエアクリナー用は国内外に月間約4万個を供給している。ただ、葵工場では樹脂射出成型品を作りながらSAF原反を2直フルで生産しており「スペースが手狭で、これ以上の増産は困難だった」(林社長)。そのため、西尾工場に第2工場を建設し、SAF原反の生産を葵工場から移管する。原反の二次加工は第1工場で行う。西尾工場全体の配置人員は、第2工場の稼働時に30人程度となる見込み。

林社長は「西尾工場は吸音材の主力工場として引き続き機能を高める。葵工場は射出成型の専用工場として本来の姿に戻す」と、拠点ごとの特長を明確にして全体の生産効率を高める考えだ。